

初版作成日 : 2021/05/07

改訂日 : 2023/04/01

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : HOOF-IT BOVINE LIQUID MMA ACRYLIC

製品番号 (SDS NO) : 24772M

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 日本全薬工業株式会社

住所 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1丁目2番5号 駿河台ビル3F

担当部署 : 事業開発部

電話番号 : 03-5282-2483

FAX : 03-3295-0255

緊急連絡先電話 : 024-945-2300(代表)

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(吸入):区分 4

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2

呼吸器感作性:区分 1

皮膚感作性:区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

臓器の障害

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

水生生物に有害

## 注意書き

### 安全対策

- 環境への放出を避けること。
- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。
- 粉じん/煙を吸入しないこと。
- 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 保護手袋及び保護面を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

### 応急措置

- 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。
- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

### 貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

### 廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 特定の危険有害性

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- ミスト/蒸気を吸入しないこと。

### 特定の物理的及び化学的危険性

- 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：  
混合物

成分名	CAS No.	化審法番号	化管法 管理番号	含有量 (%)
メタクリル酸メチル	80-62-6	2-1036	-	<90
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	2-1044	-	<30

## 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

メタクリル酸メチル

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

メタクリル酸メチル

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

メタクリル酸メチル

GHS分類区分に該当する危険有害成分

メタクリル酸メチル，メタクリル酸2-ヒドロキシエチル

健康有害性シンボル該当成分

メタクリル酸メチル

## 4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。そ

の後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

多量に飲んだ場合、吐き出させ、異常がある場合は医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

特有の危険有害性

火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。

状況に応じて呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

皮膚、眼及び衣服への接触を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、空容器に回収する。

二次災害の防止策

汚染箇所を水で洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミストを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

容器を転倒させ落下させ衝撃を与える等の粗暴な扱いをしない。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋及び保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

適切な保護具を着用する。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に保管する。

湿気を避けて保存すること。

小児の手の届かないところに保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(メタクリル酸メチル)

日本産衛学会(2012) 2ppm; 8.3mg/m<sup>3</sup>

(メタクリル酸メチル)

ACGIH(2015) TWA: 50ppm;

STEL: 100ppm (上気道及び眼刺激; 体重影響; 肺水腫)

特記事項

(メタクリル酸メチル)

皮膚感作性

ばく露防止

設備対策

特に密閉された区域では、十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

状況に応じて呼吸用保護具を着用する。

**手の保護具**

状況に応じて保護手袋を着用する。

**眼の保護具**

状況に応じて保護眼鏡を着用する。

**皮膚及び身体の保護具**

状況に応じて保護衣を着用する。

**衛生対策**

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

**9. 物理的及び化学的性質**

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：透明

臭い：刺激臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点：101℃

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点：11.5℃

自然発火点データなし

分解温度データなし

自己促進分解温度/SADTデータなし

pHデータなし

動粘度データなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

溶媒の溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

20℃での蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

臨界温度データなし

蒸発速度データなし

VOCデータなし

その他のデータなし

**10. 安定性及び反応性**

危険有害反応可能性

熱に対しては比較的安定であるが、湿気のある場所に保管されると色の変化を生じ、物理的性状に変化をきたすことがある。

避けるべき条件

本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

## 11. 有害性情報

## 毒性学的影響に関する情報

## 急性毒性

## 急性毒性(経口)

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

rat LD50=7800mg/kg (ACGIH 7th, 2015), 7900mg/kg, 8500mg/kg, 9400mg/kg (以上ECETOC JACC3 0, 1995)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

rat LD50=5050mg/kg (SIDS, 2005; SIDS Dossier, 2005); rat LD50&gt;4000mg/kg (SIDS Dossier, 2005)

## 急性毒性(経皮)

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

rabbit LD50 &gt; 5000mg/kg (EU-RAR, 2002)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

rabbit LD50 &gt;3000mg/kg (SIDS, 2005; DFGOT vol. 13, 1999)

## 急性毒性(吸入)

## [製品]

区分 4, 吸入すると有害

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

vapor: rat LC50=7093ppm/4hr (ECETOC JACC 30, 1995; EU-RAR, 2002; ACGIH 7th, 2015); &lt; 飽和蒸気圧濃度 (38614ppm) の90%

## 労働基準法: 疾病化学物質

メタクリル酸2-ヒドロキシエチル; メタクリル酸メチル

## 局所効果

## 皮膚腐食性/刺激性

## [製品]

区分 2, 皮膚刺激

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

ヒト 刺激性 (EU-RAR, 2002); ラビット 刺激性 (EU-RAR, 2002); EU CLP Skin Irrit. 2 (ECHA C L Invt., Access on Jun. 2017)

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

## [製品]

区分 2, 強い眼刺激

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

ラビット 刺激性 (EU-RAR No.22, 2002; ACGIH 7th, 2015)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

ラビット 強い刺激性 (SIDS, 2005)

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

## 感作性[厚労省局長通達]

メタクリル酸メチル; メタクリル酸2-ヒドロキシエチル

## 呼吸器感作性

## [製品]

区分 1, 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

cat. 1; 産衛学会, 2012

## 皮膚感作性

## [製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

cat. 1; EU-RAR No.22, 2002; 産衛学会, 2012; EU CLP (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

cat. 1; SIDS, 2005; DFGOT vol. 13, 1999

## 生殖細胞変異原性データなし

## 発がん性

## [成分データ]

[IARC]

(メタクリル酸メチル)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(メタクリル酸メチル)

A4(2015): ヒト発がん性因子として分類できない

## 催奇形性データなし

## 生殖毒性データなし

## 特定標的臓器毒性

## 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

## [製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

## [成分データ]

## [区分1]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

呼吸器 (ECETOC JACC30, 1995; EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

## [区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

麻酔作用 (ECETOC JACC30, 1995; EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

## 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

## [製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

## [成分データ]

## [区分1]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

神経系、呼吸器 (環境省リスク評価書 第11巻, 2013)

## 誤えん有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 3, 水生生物に有害

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=48mg/L/48hr (EU-RAR, 2002)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) EC50 (速度法)=710mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2017); 魚類 (メダカ) LC50&gt;100mg/L/96hr; 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=380mg/L/48hr (ともに環境省生態影響試験, 2017; OECD SIDS, 2001)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC (繁殖阻害)=3.5mg/L/21days (環境省生態影響試験, 2017); 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC (速度法)= 86mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2017)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC (繁殖阻害)=24mg/21days (環境省生態影響試験, 2017)

水溶解度

(メタクリル酸メチル)

1.6 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

100 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2008)

残留性・分解性

[成分データ]

(メタクリル酸メチル)

BODによる分解度: 94.3% (化審法DB, 1976)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

急速分解性あり (BODによる分解度 : 95% (化審法DB, 1989))

生体蓄積性

[成分データ]

(メタクリル酸メチル)

log Pow=1.38 (PHYSPROP DB, 2005); Log Kow=1.38 (20°C) (環境省環境リスク評価 第11巻, 2013)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

Log Kow=0.47 (SRC PHYSPROP DB, 2017)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。



## 14. 輸送上の注意

## 国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1993

正式輸送名 :

その他の引火性液体、N.O.S.

分類または区分 : 3

容器等級 : II

指針番号: 128

特別規定番号 : 274

## 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

## 特別の安全対策

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)

メタクリル酸メチル

## 国内規制がある場合の規制情報

## 船舶安全法

引火性液体類 分類3

## 航空法

引火性液体 分類3

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

## 毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

## 労働安全衛生法

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

メタクリル酸メチル

名称通知危険/有害物

メタクリル酸メチル

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 &lt; 30°C)

## 化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

メタクリル酸メチル(80%)

## 消防法

危険物

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

## 大気汚染防止法

有害大気汚染物質

メタクリル酸メチル

## 適用法規情報

医薬品医療機器等法: 該当しない

## 16. その他の情報

### 参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN  
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)  
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)  
Supplier's data/information

### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。  
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度(2021年度))です。